



海禅寺新聞

二〇二〇 春号

Vol.25

海禅寺新聞 第25号

テレビ、新聞は、新型コロナウイルス感

染拡大に関するニュースで混迷を深めています。不安なお気持ちで毎日を過ごしておられる皆さんも少なくないと思います。そうした中で各学校が感染防止を目的として臨時休校になったことで、子どもたちの過ごし方が議論されています。信濃毎日新聞に、休んでいる児童や生徒が、公園で遊ぶのは趣旨と反するという視点から、各所に苦情が寄せられているという記事がありました。これについて皆さんはどのようにお考えになるでしょうか。医学的にはカラオケボックスなどの密閉した空間は避けた方がよいが、公園は許容範囲であると感染症内科医がコメントを出しています。子育て家庭は、活発な子どもたちを家の中だけで過ごさせるのは難しい、息が詰まる、と悲鳴を上げています。

巷に溢れる「感染予防のための自粛」、その先で起こる本当の恐怖は、住民間で交わされる厳しい監視の眼差し、そして繋がりへの分断です。こうした一大事の時からこそ、共に支え合い、補い合い、許し合つて、この難局を乗り越えていくことが最善の道でしょう。諏訪中央病院の鎌田実名誉院長は、「感染拡大を防いで社会活動を維持するため『大人が子どもに協力してもらっている』という視点を忘れてはいけません。あたたかな目を持つ地域の寛容さが肝

心だ」と強調しています。(信毎 web 3/9より) こうした試練の時だからこそ、私たちの真価が問われています。多様な視点から情報を集め、自分たちで考え対話し、あたたかい社会を維持、進化させていきましょう。



生きる力 Vol.100 記念号 送付

各季節ごと、皆さんにお届けしている小冊子「生きる力」、今回は100号目の記念号です。特集は「真言宗智山派と総本山智積院」です。新しい管長猥下の話題から私たちの宗派について、また会館がリニューアルした御本山のことが紹介されています(拝観ご招待券つき)。新型コロナウイルスが終息しましたら、皆さんで総本山を参拝する計画をたてたいと思います。その際はぜひご参加ください。

春彼岸会 中日法要のご案内

恒例の春彼岸会法要を海禅寺本堂でお勤めいたします。皆さんで先祖の供養をいたしましょう。どうぞご家族そろってお出かけください。(申込不要)

日程：令和2年3月20日(金・祝)
時間：受付 午前10時

法要 午前10時30分

※毎回有意義な懇親の場となっている法要終了後の茶話会ですが、今回は新型コロナウイルス感染症に配慮して中止します。

※彼岸会中日法要の供養塔婆をご希望の方は、3月17日(火) 夕刻までにお申し込みください。(供養塔婆料 一基 3000円)

電話 0268-2212972
ファックス 0268-261147

おねがい 第9回 聖天祭 開催決定

5月末には新型コロナウイルスが終息していることを願いながら、今年も聖天祭の準備を始めています。今年も聖天祭のご利益にあやかりながら、人と人との様々な縁が芽生えるよき一日となるよう、さまざまな企画をたてています。

そして実行委員会では、お祭りをお手伝いいただける方々を大募集中です。内容は、会場準備・片付け・駐車場係・会場案内見回りなどですが、ご無理のない可能なお時間の範囲内に限ってでも構いません。お祭りを作り上げる喜びを共有していただき、お檀家の皆さん、そして有志のスタッフの皆さん同士が、あたたかな仲間として広がりていくことを願っております。ぜひお気軽にお問い合わせてください。

※お祭り終了後、別日に慰労会がございます
※詳細は、追ってお知らせいたします
【聖天祭日時】
日程：令和2年5月17日(日)
時間：午前10時～午後3時
入場：無料



聖天祭とは

檀信徒皆様のご寄進により、美しく整った聖天堂。聖天祭は、ご協力をいただいた皆さんお一人お一人の思いを、より意義あるものとして広げていきたいと始まったお祭りです。海禅寺に多くの皆さんが集まり出会い祈り、そしてこれからの繋がる縁をもつていただくことを願っています。

スタッフ心得

- ①何事も、笑顔親切丁寧に。
- ②ご来場の方々に対して、次の3点のお手伝いを願います。
聖天さんに参拝し、その福德にあやかっていた。
出店および各催しを通じ、人と人との交流を
楽しむ。
寺と仏教の価値に出会いなおす。
- ③スタッフ自身も祭の時間を楽しみましょう。
和をもつて連携し、その縁をあたたかく深めて
ください。

よき縁を
お願ひます

しょうてんまつり

聖天祭

スタッフ
大募集

海禅寺数珠つなぎ

海禅寺にかかわる皆さんの声を、お数珠のようにつなげ、ご紹介していきます

人形供養塔 お地藏さん

番外編

今回は番外編として、海禅寺不動堂前にある人形供養塔をご紹介します。

昭和60年(1985年)より毎年11月23日(勤労感謝の日)に開催している人形供養会

(にんぎょうくようえ)。人形供養塔はお地藏さんの姿をして



おり、毎年お焚き上げ後の遺灰を少しずつその足元に納めています。この供養塔は賛同者が「上田に人形碑をたてる会」として集まり、どのような形がよいか検討を重ねて、平成元年11月23日に建立開眼されました。以来、供養者の抛り所として大切に拝まれております。供養塔には次のような一文が石に刻まれています。

『その使命を終えた

あまたの人形たち

その存在を永遠にせんが為

ここに静かに眠らせん

吾らと共に安らかであれ』

寺においでの際は、不動堂前の人形供養塔へ、ぜひ一度ご参拝ください。

墓地の大ケヤキ枝伐採

海禅寺墓地にはケヤキ(樺)の巨木が6本生えています。どれも立派に成長した樹木ではありましたが、枝が大きく広がりすぎており、中には枯れ枝も多く、強風が吹くと度々折れては落下し、危険性を感じていました。そこで樹木の特殊伐採を専門に行うルーツ・ツリー・サービスさん(大町市)に、枯れ枝を中心に伐採作業をお願いしました。

ロープワークを用いた高所作業は、まるでエンターテイメントを見ているような鮮やかさ。しかし同時に危険を伴う大変な仕事です。3日間にわたる作業を経て、おかげさまで大ケヤキはどれもすっきりと風通しのよい立ち姿に整いました。墓参の際はどうぞ注目下さい。



樹木整美・伐採工事 ルーツ・ツリー・サービス Rooutes Tree Service

長野県大町市 平 8000 Tel.0261-85-7656

※ルーツ・ツリー・サービスさんは、丁寧な特殊伐採で定評のある優良業者さんです。植木屋さんでは手に負えない大きな木の剪定・伐採に関しては、ぜひご相談ください。

御礼 寄附のご協力に感謝

昨年、宗祖 弘法大師 空海さまのご生誕、1250年の慶讃事業に対する浄財志納勸募をお願いしましたところ、大勢の皆様よりご協力をいただきました。大変にあり

がとうございました。早速総本山へ納入する割り当て寄付分について、全額至納させていただきますました(分納の計画でご寄附を予定くださっている方は、寺で立て替えています)。



海禅寺の景観整備事業につきましては、新年度より着工予定でここに心よりの感謝と共にご報告させていただきます。

→総本山発行の納入証

海禅寺を会場にお葬式を

大切なご家族の「死」という一大事の後に、直ちにやってくるお葬式の準備。時代とともにそのかたちは大きく変わってきています。

ご近所におみおくりされる地域のお葬式から、かつての同僚たちにおみおくりされる会社中心のお葬式。そして今はご家族だけでゆつくりお別れする小さな規模のお葬式をされる方が多くなってきました。そうした中でいま必要なのは、家族でゆつくりお別れできる場ではないでしょうか。そのお別れの場として、皆さんの菩提寺である海禅寺のご本堂を会場としてお使いいただけるよう、この度、その仕組みを整えました。

【お寺でお葬式を行う3つのよさ】

- ①ご自宅のそばにあるお寺だからこそ、ゆつくりご葬儀ができます。葬儀でもっとも大変なことのひとつが実は自宅から会場までの移動です。ご自宅のそばにあるお寺だからこそご家族でゆつくりお別れの時間がとれます。

- ②ご自身が思ったとおりの予算で安心して計画できます。

お寺には必要な設備がそろっています。過剰な設備等は必要ありません。ですから、余計な費用はかかりません。そして予算内で充実したご葬儀を営むことができます。

- ③荘厳な本堂で行う葬儀だからこそ心にのこります。

真田家の祈願所であった海禅寺の本堂にて、荘厳さにつつまれながら葬儀という特別な時間の中で、先立つ家族を偲ぶことができます。

この度、「お寺でおみおくり」という業者さんにご協力をいただき、お檀家さんそれぞれのご事情に合わせたお葬式が海禅寺でできるよう準備を進めています。次号以降の海禅寺新聞で、より詳細なご案内ができるかと思いますが、それ以前にご関心のある方は、どうぞお尋ねください。

編集後記

暖冬の影響で、今年は花の便りが早くなりそうです。境内では梅が次々と花開き、芽吹き季節となりました。参道の桜も蕾が早くも大きくなり始めたように見えます。きつと開花は例年より早くなることでしょうか。桜開花の暁には、ぜひお花見散歩、そして参拝にお出かけ下さい。



発行元 海禅寺